

高円宮杯2015ホッケー日本リーグ 【男子】最終節 最終日

開催日時 10 月 18 日 (日) 会場 立命館ホリーズスタジアム 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 10:00~

立命館大学ホリーズ	8	$\begin{pmatrix} 2-0 \\ 1-0 \\ 2-0 \\ 3-0 \end{pmatrix}$	0	駿河台大学
9 勝 2 分 2 敗 勝点 29			勝点 6	2 勝 0 分 11 敗

第2試合 11:40~

名古屋フラーテル	2	$\begin{pmatrix} 1-2 \\ 0-2 \\ 0-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$	4	天理大学ベアーズ
11 勝 1 分 1 敗 勝点 34			勝点 32	10 勝 2 分 1 敗

【女子】最終節 最終日

第3試合 13:20~

南都銀行SHOOTING STARS	1	$\begin{pmatrix} 0-0 \\ 0-0 \\ 1-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$	0	山梨学院CROWNING GLORIES
1 勝 1 分 1 敗 勝点 4			勝点 0	0 勝 0 分 3 敗

第4試合 15:00~

ソニーHC BRAVIA Ladies	2	$\begin{pmatrix} 0-0 \\ 0-0 \\ 1-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$	0	コカ・コーラウエストレッドスパークス
3 勝 0 分 0 敗 勝点 9			勝点 4	1 勝 1 分 1 敗

【各試合の結果・詳細】

第1試合

立命館大学ホリーズ 8 $\begin{pmatrix} 2-0 \\ 1-0 \\ 2-0 \\ 3-0 \end{pmatrix}$ 0 駿河台大学

勝点 29 勝点 6

9 勝 2 分 2 敗 2 勝 0 分 11 敗

得点	立命→6分津田 9分津田 22分木下 34分渡辺 36分永井 53分河野 56分大橋 58分大橋		
	駿河台→		
戦評	駿河台のセンターパスで試合開始。開始早々の6分、立命館は#8津田がヒットシュートで決めて先制すると、続く9分にもゴール前のこぼれ球を#8津田が決めて突き放す。2Qに入り22分にもドリブルで持ち込んだ#4木下がヒットシュートを決めて3点のリードとする。対する駿河台もロングパスでチャンスを作るが、得点することが出来ない。後半に入っても立命館のペースで試合が進み、3Qに2点、4Qに3点をそれぞれ加点し、8-0の大差で立命館が勝利した。		
テクニカルオフィサー	千野 雅人	アンパイア	元宗 宏寿
ジャッジ	松原 久/林 優介/福田 貴也		児玉 茂樹

第2試合

名古屋フラーテル 2 $\begin{pmatrix} 1-2 \\ 0-2 \\ 0-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$ 4 天理大学ベアーズ

勝点 34 勝点 32

11 勝 1 分 1 敗 10 勝 2 分 1 敗

得点	名古屋→1分橋 52分吉原		
	天理→3分福田 11分黒川 18分瀧澤 21分落合		
戦評	天理のセンターパスで試合が開始された。開始早々の1分、名古屋は#13山下から#17橋へ繋ぎリバースシュートで先制する。すかさず天理も3分、#10石川のパスを受けた#17福田が力強いリバースシュートで同点に追いつく。勢いに乗った天理は11分、PCから#8黒川がフリックを決め、勝ち越しに成功する。2Qに入っても天理の勢いは衰えず18分、#11瀧澤が左サイドからリバースシュートで3点目、21分にも#6落合が押し込み4点目を奪い、リードを3点に広げる。巻き返しを図る名古屋だが、天理守備陣の堅い守りに阻まれ得点を奪えない。4Qに入り52分、名古屋は右サイドのセンタリングから#12吉原のタッチシュートで2点目を奪うが反撃もここまで。そのまま試合は終了し、4-2で天理が名古屋に勝利した。		
テクニカルオフィサー	今庄 充世	アンパイア	近藤 聡史
ジャッジ	光田清治/若林昂太/小谷朋也		高橋 英行

ホッケー日本リーグ機構

第3試合

南都銀行SHOOTING STARS 1 $\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 0 & -0 \\ 1 & -0 \\ 0 & -0 \end{pmatrix}$ 0 山梨学院CROWNING GLORIES

勝点 4

勝点 0

1 勝 1 分 1 敗

0 勝 0 分 3 敗

得点	南都→34分野村		
	山梨→		
戦評	山梨学院のセンターパスで試合開始。序盤から激しい攻防が繰り広げられ、一進一退の展開。両チームPCのチャンスを得るが得点に結びつけることができない。徐々に南都の攻め上がる時間帯が増えてくるが、山梨も決定機を与えないディフェンスで膠着状態が続く。試合が動いたのは後半に入った34分、南都はPCから#9野村がブッシュシュートを決め、待望の先制点を奪う。追いつきたい山梨学院は#12河村のドリブルを攻撃の起点として攻め上がるが、南都ディフェンスが決定機を与えない。4Q終盤には、あわや同点ゴールというシーンもあったが最終判定はノーゴール。そのまま試合が終了し、1-0で南都が勝利し3位となった。		
テクニカルオフィサー	千野 雅人		アンパイア
ジャッジ	松原久/勝又舞/林夏実		根岸 郁美 我妻 順子

第4試合

ソニーHC BRAVIA Ladies 2 $\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 0 & -0 \\ 1 & -0 \\ 1 & -0 \end{pmatrix}$ 0 コカ・コーラウエストレッドスパークス

勝点 9

勝点 4

3 勝 0 分 0 敗

1 勝 1 分 1 敗

得点	ソニー→37分山本 59分中島		
	コーラ→		
戦評	ソニーのセンターパスで試合が開始。序盤から両チーム積極的にチャンスをつかみ、攻守の切り替えが早い展開でゲームは進む。お互いPCを獲得するが、それぞれの守備陣の堅い守りでスコアは動かない。ミスの許されない緊張感のある試合展開の中、両チーム無得点で前半を折り返す。試合が動いたのは後半に入った37分、ソニーはPCのシュートでディフェンスに当たって浮き上がったボールを#20山本がうまく押し込み先制する。優勝するには勝つしかないコカ・コーラは、追いつくべく猛攻を仕掛けるが、ソニー守備陣の堅い守りに阻まれ得点出来ない。逆に59分、ソニーはライトのドリブルから最後は#8中島がタッチシュートを決め2点目を奪い試合を決定づける。そのまま2-0でソニーが勝利、2年ぶりの優勝を決めた。		
テクニカルオフィサー	今庄 充世		アンパイア
ジャッジ	澤田昌宏/荻谷和代/永井なつ美		相馬 知恵子 山田 恵美